

サボテン の 育て方(1)

形状のユニークなサボテンや多肉植物を寄せ植えにしてみます。サボテンを扱う時は、トゲに気をつけます。特に細いトゲは、刺さった時、抜くのが大変です。割り箸などで扱きましょう。

■材料

- ・サボテン
- ・多肉植物（今回は、金のなる木、ミセバヤ、桃美人）
- ・鉢（根が深く伸びる植物ではないので、器は浅い鉢やお皿でも。アジアの民具や藤カゴに入れてもオシャレです。）



サボテンを寄せ植えで楽しむ

1. まず、鉢に半分くらい、粒の細かい土を入れます。
2. サボテンをポットから出し、根が多いものは短く切ります。挿し木で殖えるくらいなので、根が短くても大丈夫です。殖えすぎたサボテンや伸びた多肉植物の茎を切った後、切り口を半日程乾燥させてから植えると発根しやすくなります。
3. 配置する場所を決めたら、そこに割り箸で穴を少し掘り、サボテンを置き、土を寄せ、周りを軽く抑えます。植物で高低を出すだけでなく、土で高低差をつけて、サボテンを置いていくと、鉢の中の広がりが増します。
4. 高原や砂漠をイメージして、小物を一緒に飾ったり、サボテンを固定する為に石やバークを利用すると、ロックガーデンのような仕上がりになります。
5. 植えた鉢は、玄関や室内に置きましょう。鉢の表面が乾いたら、翌日は鉢底から流れ出るまで十分に水を与えて下さい。鉢底に排水口がない場合は、霧吹きで水を与えます。



MEMO サボテンを育てるコツ

サボテンをダメにする原因は根腐れです。夏場、室内で飾る場合はかわいそうと思うくらい水はやらず、休眠状態にするのが長もちのコツ。

色鮮やかな砂を使ってトロピカルムードに

サボテンの鉢の上に、カラー砂を蒔きます。アクリルの透明な容器に入れると、色の組み合わせを楽しむことができます。糊を薄めた水を霧吹きでスプレーすると表面が固まり、崩れにくくなります。水やりはスプレーで与え、砂が流れないようにしましょう。

